

第37回今が青春18切符くらぶ 水戸偕楽園,観梅の旅 H29.03.11

徳川ミュージアム,偕楽園,常盤神社,東照宮,弘道館,黄門生誕の地
など徳川家由縁の施設を「歴史アドバイザー-水戸」に依り巡りました。

【日 程】:H29年3月11日(土)7時15分 大船駅南口改札口,ルミネ前集合

【略費用】:青春18切符¥2,370,徳川ミュージアム¥1,200,弘道館:無料(¥200)
弁当¥1,080,総額¥4,650 (OP:好文亭¥200)

【往 路】:大船 7:25→8:16 上野 8:23→10:26 偕楽園(臨時)10:30~偕楽園(梅林)~
徳川ミュージアム~偕楽園公園(梅林)+(OP:好文亭)《ガイド 1.5 時間コース》~
昼食~常盤神社~バス~水戸東照宮~弘道館《ガイド1時間コース》~義公・
(水戸黄門)生誕の地~水戸駅 17:15 着

【復 路】:水戸 17:34→19:34 上野 19:46→大船 20:36 着



徳川ミュージアム



跨線橋を渡り集合地の南門に向う



水戸偕楽園から千波湖(せんばこ)を望む



ガイド「歴史アドバイザー-水戸」の説明を聞く



戸偕楽園・好文亭(こうぶんてい)をバックに集合写真



仙奕台(せんえきだい) 石の基盤



水戸の梅大使



好文亭(こうぶんてい)表門



偕楽園は、藩主、家臣、領民が共に遊息する為、天保13年(1842年)徳川齊昭公(とくがわなりあき)/水戸藩第9代藩主により、造園されました



水戸市内遊覧バス



弘道館全図、天館、武館などを備えた国内最大級規模の、総合大学と言うべき藩校



市内をウォーキングする我仲間



至善堂御座の間(しぜんどうござのま)
最後の将軍、徳川慶喜(七郎齋)も5歳から11歳迄ここで学びました



黄門神社・義公(水戸黄門)生誕の地

弘道館は、優秀な人材を育成する為、天保12年(1841年)に、徳川斉昭公(とくがわなりあき)/水戸藩第9代藩主により、創設された水戸藩の藩校です

参加者とグループ編成:17名 { }印はグループリーダー 順不同敬称略

紅組:① {若狭芳生} ②篠原百合子,③出口仁美,④岡村美和子,⑤高橋敏枝

白組:⑥ {桑原啓二} ⑦石川陽久,⑧伊地知季顕,⑨水越福枝

いろは組:⑩ {安田正} ⑪阪川信夫,⑫星野久子,⑬榎本早苗,⑭柳みのる

ほへと組:⑮ {梶田誠三} ⑯佐藤智恵子

独立組:⑰ {木暮郁雄}

以上